# 中期経営計画

## 中期経営計画「*モア・バリュー "NANTO"*」

当行では、平成20年4月から平成23年3月までを計画期間とする中期経営計画**「*モア・バリュー "NANTO"*」**（期間3年）をスタートさせました。

本計画は、これまで積極的に推進してきました当行および「地域・お客さま、株主、従業員」といったステークホルダーの価値向上に向けた取組みを基本として、新たな環境変化を見据え、将来にわたって当行が地域とともに成長していく経営戦略としました。

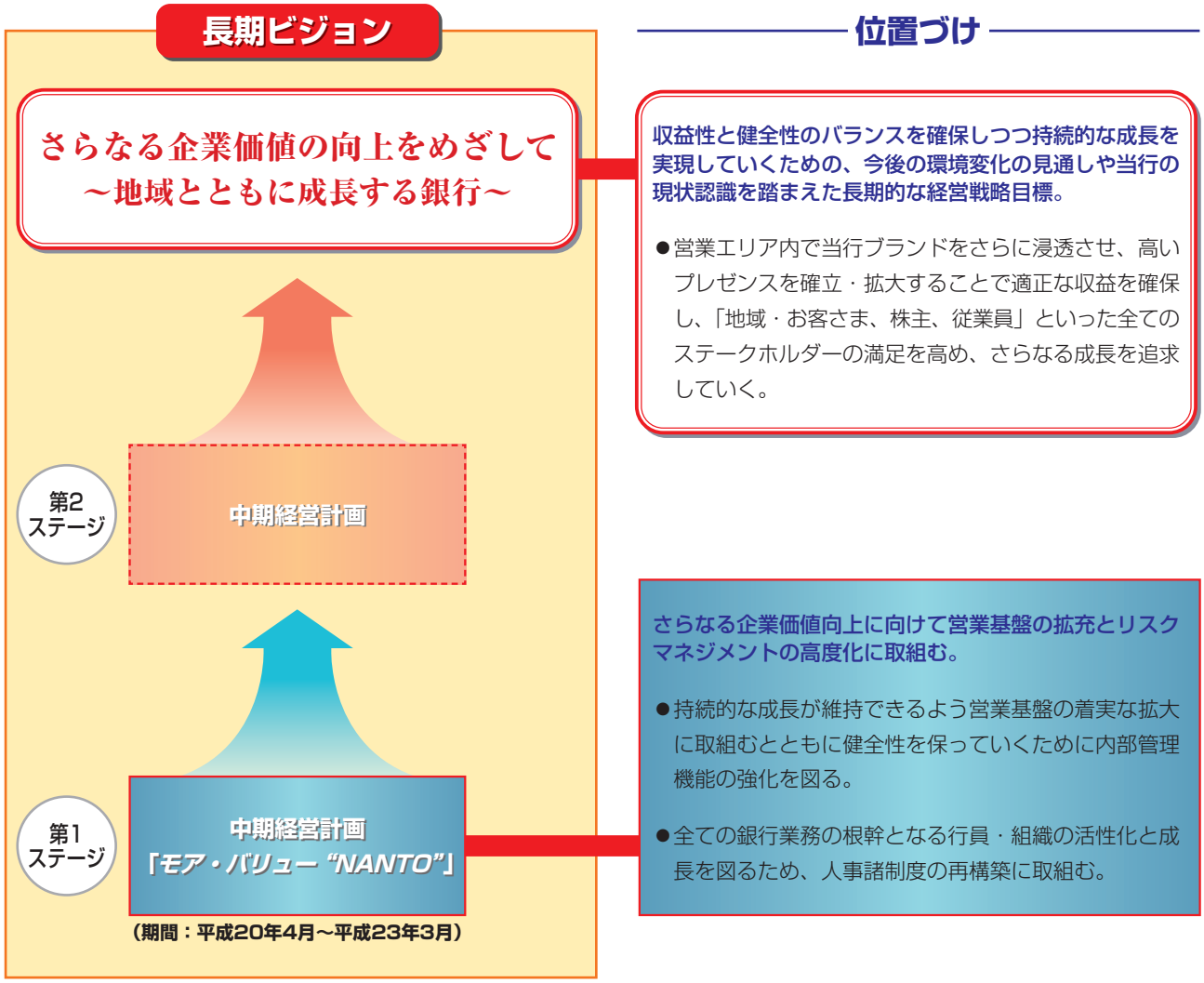
当行を取り巻く社会情勢・経済環境が大きく変貌する中、長期的な視点から、当行が収益性と健全性のバランスを確保しつつ、強靭な経営体質の実現と全てのステークホルダーの満足を高めていくため、創立80周年（平成26年6月）に向けためざすべき姿として「さらなる企業価値の向上をめざして～地域とともに成長する銀行～」（期間6年）をテーマとする長期ビジョンを掲げました。

**「*モア・バリュー "NANTO"*」**は、この長期ビジョンを実現するための第1ステージと位置づけ、営業基盤の拡充とリスクマネジメントの高度化に取組むとともに、これら施策の推進力となる「行員」・「組織」の活性化に向けた諸施策を実施してまいります。

また、当行は銀行本来の業務を中心に、地域金融機関としての社会的責任を果たしてきましたが、非財務面での企業価値も高めていくため、より一層積極的に環境活動や社会貢献活動に取組み、さらに地域社会や地元経済の活性化を推進します。

この３年間、当行および地域社会が永続的に成長し発展していくよう、役職員の総力を結集し取組んでまいります。

計画の概要は、以下のとおりです。



## 〈基本方針〉

1. 長期ビジョンの達成に向けた第1ステージとして、営業面では、これまでの取組み（奈良県内営業体制の再構築、大阪戦略等）の促進および新たな営業施策の展開に取組むことで、営業基盤のさらなる拡充を図るとともに、内部管理においてもリスク管理の高度化等の態勢整備に取組み、攻めと守りのバランスのとれた成長を成し遂げる。
2. 全ての銀行業務の根幹となる行員・組織の活性化と成長を図るため、人事諸制度の再構築に取組む。
3. 当行が地域金融機関として持続的に発展していくためには「地域経済の活性化」が必要不可欠であることから、取引先企業への資金供給・経営改善支援のみならず、公民連携への参画等を通じて地域密着型金融の推進に取組む。
4. 地域に根ざす当行の人的ネットワークを活かし、地域活性化につながる社会貢献、環境保全に継続して取組むことにより、企業の社会的責任（CSR）を果たす。

現状 → 3年後 → 6年後 → 平成26年6月 創立80周年

## 〈計数目標〉

| 項　目 | 19年度実績 | 22年度計画 |
|---|---|---|
| ①コア業務純益 | 193億円 | 260億円以上 |
| ②当期純利益 | 50億円 | 120億円以上 |
| ③貸出金残高 | 2.69兆円 | 3兆円以上 |

**めざす計数目標**

■ROE …… 8%以上
■自己資本比率 …… 11%以上

〈基本方針〉 ― 〈計数目標〉

## 〈重点戦略〉

**Ⅰ.地域・部門別営業力の強化**
- 営業体制・チャネル
- 個人部門
- 法人部門
- 地公体部門
- 市場部門

**Ⅱ.内部管理態勢の充実・高度化**
- 法令等遵守態勢
- 顧客保護等管理態勢
- 統合的リスク管理態勢
- 信用リスク管理態勢
- 市場リスク管理態勢
- オペレーショナル・リスク管理態勢
- 内部監査

**Ⅲ.人材マネジメントの強化**
- 人事制度
- 人材育成
- 人員体制

**Ⅳ.CSRの推進**
- 環境保全活動の推進
- 社会貢献活動の推進
- CSRの組織化
- 情報開示の充実

→ 諸施策